

令和4年度(2022年度)事業報告

I. 総括

会員の皆様方におかれましては、平素より本会の事業にご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

令和2年から続く新型コロナウイルス感染症の影響により、計画していた事業が予定通りに実施できない事もありました。

本年度の事業報告として具体的には後述致しますが、まず公益事業1の「医用放射線の安全利用に関する知識の普及啓発を図り、保健の向上に寄与する事業」に関しましては、令和4年度開催を予定しておりました第16回愛媛県診療放射線技師学術大会は、新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止と致しました。また、レントゲン週間イベントについては、令和4年11月6日にフジグラン松山にて開催致しました。教育の場での活動に関しましては、『ジョブチャレンジU-15(愛媛県モデル事業)』については中止となりましたが、松山市総合コミュニティセンターにて開催された『キッズジョブまつやま2022』とアイテム愛媛で開催された『お仕事フェスタ』については、感染対策に気を配りながら松山市小中学校PTA連合会や関連団体と連携し有意義な活動を行うことができました。

次に、公益事業2の「放射線技術学の調査研究を図り、健康管理支援及び医療・保健の向上に寄与する事業」に関しましては、計画しておりました研修会を開催することができませんでした。そのうち、各部会で開催しております研修会に関しましては、南予部会研修会は令和5年2月4日(土)に対面で開催し、東予部会研修会は令和5年3月4日(土)にWeb方式で開催しました。また、日本診療放射線技師会主催ではありますが、フレッシューズセミナーを愛媛大学医学部附属病院 地域医療支援センターにて開催し、VR技術を取り入れた新しい形のセミナーとなりました。

更に、令和3年度後半からの非常に大きな事業である『告示研修』(実技研修)を令和4年8月6日(土)、8月7日(日)と令和5年1月28日(土)、1月29日(日)の計4回を愛媛大学医学部にて予定通り開催することができました。この研修は“新しい業務拡大に伴う免許制度の変更”に対応するための義務研修であり、本会会員にとどまらず免許を有するすべての診療放射線技師に求められており、極めて重要な事業と考えております。

令和4年度も、医療・保健に関わる職能団体として感染拡大防止には十分に配慮しながら事業を推進して参りました。そのため、イベントの中止や開催形式の変更などにより、多くの皆様方にご迷惑やご負担をお掛けする事もありますが、Web開催・ハイブリッド開催などコロナ禍での新たな運営形態の構築も徐々に進んで参りました。昨年度に引き続き、我々医療者として、日々の業務においても、ストレスがかかることの多い1年でありましたが、コロナ禍の中で、今、考えられる最善を模索し続けた1年となりました。

今後も、より良い事業運営を目指して参りますので、引き続き皆様方のご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

Ⅱ. 庶務報告

1. 本会役員

会 長	水口 司
副 会 長	大元 謙二 渡辺 真由美

○地区理事

東 予 地 区	谷川 達也 源 秀一
南 予 地 区	三好 史彦 水田 智

○常務理事

事 業 推 進	岡本 隆
総 務	茂木 大志
財 務	大西 恭平
学術・教育	小池 大作 高本 研二 羽藤 寛文 和田 彬
渉外・情宣	茂木 大志 (兼任) 木村 浩之
庶 務	小島 明彦

監 事	富永 亨 高橋 涉 平野 尚
顧 問	西田 史生 塩崎 恭久 (元衆議院議員)

2. 会議開催状況

(1) 定期総会

第 68 回定期総会を令和 4 年 6 月 18 日 (土)、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、オンライン会議システム (webex) を通じて役員が参加。出席者が一堂に会するのと同等に適時的確な意思疎通ができる状態となっている事を確認した上で実施した。決議は全会員対象に委任状か書面評決を提出してもらい、その結果各議案は全て承認された。(委任状 100 名 書面表決 150 名)

(2) 理事会

令和 4 年度は 3 回 (令和 4 年 4 月 10 日 (日)、令和 4 年 9 月 11 日 (日)、令和 5 年 3 月 11 日 (土)) に開催し、重要案件について審議処理した。

(3) 常務理事会

令和 4 年度は 12 回開催し、すべての案件について審議処理した。

(4) 各種委員会

○ 表彰委員会

- ・ 愛媛県診療放射線技師会会長表彰を3名選出した。
- ・ 日本診療放射線技師会主催表彰である「勤続30年表彰」対象者を1名推薦した。

3. 会員動向状況

令和5年3月末現在の会員数は、437名。新入会員26名、転入者3名、転出者3名、退会者12名であった。

Ⅲ. 事業報告

1. 医用放射線の安全利用に関する知識の普及啓発を図り、保健の向上に寄与する事業

概要の説明 医用放射線の安全利用に関する知識の普及啓発の手段としての学術講演会・機関誌の発行・イベントの開催及びホームページを通してその情報の提供・開示を行い、広く県民へ医療における放射線利用の有用性の周知を図り健康支援に寄与する事業。

(1) 第16回愛媛県診療放射線技師学術大会

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、中止とした。

(2) レントゲン週間

令和4年11月6日(日)、フジグラン松山にて開催。骨密度測定者は44名、乳腺触診体験者は8名。

(3) 調査研究に対する表彰

『令和5年第1回理事会での決定事項を記載』

(病院)

(4) 機関誌の発行、ホームページの作成・公開

機関誌「愛媛放射線」No.92を令和4年5月に発刊。

(5) 教育の場での活動(出前授業)

① ジョブチャレンジU-15(愛媛県モデル事業)

県立中等教育学校3校(松山西中、今治東中、宇和島南中)を対象に各校10名程度を病院に受け入れ、2~5日間の体験学習を実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止。

② キッズジョブまつやま2022(松山市PTA連合会主催)

令和4年11月27日(日)、松山市総合コミュニティセンターにて開催。参加者は、小学生から中学生で60名程度。

③ お仕事フェスタ(河原学園主催)

令和5年3月4日（土）・5日（日）。参加者は、小学校から高校生で41名。

2. 放射線技術学の調査研究を図り、健康管理支援及び医療・保健の向上に寄与する事業

概要の説明 放射線の管理及び障害防止に関する調査研究及び診療放射線技術学の向上を図り、放射線の安全利用と放射線治療の有用性の向上を図り、もって県民の保健の向上に寄与することを目的とする事業。

- (1) 愛媛県診療放射線技師会研修会・愛媛県学術研修会
新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止。
- (2) 管理士部会研修会
新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止。
- (3) マドンナ部会研修会
新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止。
- (4) 東・南予の各部会研修会
 - ① 東予部会研修会は令和5年3月4日（土）にweb方式で開催。特別公演、一般演題6題。参加者は37名
 - ② 南予部会研修会は令和5年2月4日（土）、JCHO 宇和島病院にて開催。情報提供2題、一般演題3題。参加者は30名
- (5) フレッシュアップセミナー
令和4年7月10日（日）、愛媛大学医学部附属病院 地域医療支援センターにて開催。参加者は11名。
- (6) 厚生労働省告示273号研修（告示研修「実技研修」）
令和4年8月6日（土）、8月7日（日）、愛媛大学医学部にて開催。参加者は81名。令和5年1月28日（土）、1月29日（日）、愛媛大学医学部にて開催。参加者は86名。

IV. 法人の運営に関する事業

1. 会費早期納入の促進

日本診療放射線技師会と合算請求を行う。

2. 財政の充実

放射線関連企業に「愛媛放射線」の広告を依頼し、財政の充実を図った。

3. 県技役員歴のシステム化

役員歴を整理し、潜在表彰者をシステム管理化し更新。

4. 学術文化活動の推進

- 令和4年度日本診療放射線技師学会大会
令和4年9月16日（金）～18日（日）、神戸コンベンションセンター（兵庫県）開催された第38回日本診療放射線技師学会大会に、本県より21名が参加。
- 中四国放射線医療技術フォーラム2022
令和4年10月15日（土）～16日（日）、愛媛県松山市で開催された第18回中四国放射線医療技術フォーラムに、本県より125名が現地参加。オンデマンド参加は157名。